

JCCP NEWS

Vol.12 Iss.02



ケニア 日本から贈られたぬいぐるみをスラムのセラピー・ルームに届ける女性。子どもたちも喜んでかけよってきた

CONTENTS

特集 国連も注目する『女性の平和構築への役割』:JCCPのとりくみとは … p.2

理事長 瀬谷ルミ子 よりご挨拶 …………… p.3

海外事業地のうごき:ケニア/南スーダン/トルコ …………… p.3

東京本部事務局より/支援者の声 …………… p.3

ご協力のお礼/海外事業一覧/講演・メディア掲載/ご支援のお願い …………… p.4

国連も注目する『女性の平和構築の役割』 :JCCPのとりくみとは

毎年3月8日は
国際女性デーです!

女性と平和に関するこんなデータがあります



左のこの2つのデータは、UN Women(ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関)の調査によって分かったことです。この数字は、女性が和平プロセスに参加することがいかに重要かを示しており、女性が暴力から守られるべき存在としてだけではなく、平和の重要な担い手であることが分かります。

そんな平和のための女性の役割を重要視して、2000年には「女性・平和・安全保障に関する国連安保理決議1325号」(*)が採択されたのです。

一方、実際は女性が和平プロセスに関わることが未だ少ないこともデータは示しています。また、世界の和平合意内容に、ジェンダー視点などが含まれている割合も、微増(11%→27%)にとどまっているのが現状なのです。

一方で…



※「国連決議1325号についてくわしく知りたい!」という方へ。国際連合広報センターのウェブサイトの資料・映像の中に、15周年を記念して作られた動画(Youtube)があります。ぜひ検索してみてください。

JCCPでも女性の参加による平和構築を実践しています

このように、平和への女性の積極的な参画はまだまだ発展途上です。各国に具体的なアクションがもとめられる中、日本でも2015年に行動計画が策定され、政府の活動方針を示しています。

JCCPは、ジェンダーに配慮した事業をつうじて女性の経済的自立や能力強化の支援のほか、紛争や暴力の被害を克服するための心のケアを行っています。これからもJCCPは、紛争の連鎖を断ち切り、紛争の芽を摘むという意味決定に携わり、自立して生きていけるよう支援を行っていきます。



ケニアでも、女性が治安調査メンバーとして参加することで、当事者ならではの視点をスラムの治安改善に生かしています。